

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

救急外来受診後7日以内に入院に至った症例の分析に基づく、診断上改善すべき課題の抽出

1. 研究の対象および研究対象期間

研究の対象：昭和大学病院救急診療科を受診した18歳以上の患者さん

研究対象期間：2019年4月1日から2020年3月31日

2. 研究目的・方法

救急外来から帰宅後まもない患者さんが予定外に入院（Bounce-back admission）した場合、一定の割合で改善すべき診療上の課題（診療エラー）が隠れていると言われていています。そして、帰宅時と入院時の診断が異なる場合は診断に、診断が同じ場合は治療・管理の方法に問題がある可能性があります。

前者（診断上の問題）については、どうしても診断が難しいケースがある一方、医師の学習や教育体制の整備により解決できる場合もあります。また、正しい診断は適切な治療にもつながり、結果として Bounce-back admission に至る患者さんを減らすことのできる可能性があります。

一般の外来診療とは異なり、救急診療では「命に係わる疾患でないことを確認すること」が重視され、しばしば診断がついていないケースがあります。本研究では、7日以内に Bounce-back した症例のうち、こうした未診断例を含む帰宅時と入院時の診断が異なる症例を抽出し、診断上の問題を分析するために計画しました。

本研究は、昭和大学病院救急診療科を受診後に帰宅した18歳以上の患者さんのデータを利用します。データは病院内の電子カルテから「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。これらのデータから、問診、身体診察、検査、解釈のどの過程に問題があり診断できなかったのかを分析します。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」の承認後、昭和大学病院長の研究実施許可を得てから2021年9月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2019年4月1日から2020年3月31日までに当院救急診療科を受診した患者診療録の中から、受診後

帰宅し、7日以内に入院に至った患者さんの下記①～⑥のデータを用います。

- ① 患者の年齢・性別
- ② 初回受診時の診断と、その根拠となった所見（症状、身体所見、検査項目）
- ③ 初回受診時の帰宅の理由
- ④ 初回受診時の処方や治療の内容
- ⑤ 入院時の診断と最終診断
- ⑥ 在院日数と最終転帰

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 救急診療科 氏名：垂水 庸子
住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8000（代表）

研究責任者：垂水 庸子

三

三

三